

2024年度 「新産業創出研究会」研究計画書の作成要領

1. 2024年度新産業創出研究会の公募要領をご覧のうえ、研究代表者が取纏めて申請ください。
2. 別紙・添付資料以外の項目1～3の部分を、A4版5ページ程度に簡潔に要領よく記載してください。枠に収まらない場合は、適宜広げてください。
3. 本要領及び申請書中の記載例・図示例・例示・注釈文（青文字・赤文字）は申請時には削除して、記入してください。
4. 本研究会は企業の参加を必須としており、最低1社は中国地域の企業の参加が必要です。また、複数企業の参加が望ましい。中国地域内に研究機関または工場がある企業であれば本社機能が中国地域内になくても応募可能です。
5. 研究代表者に記載いただく項目と参加企業に記載いただく項目（(3)参加企業のニーズ、事業化の概要等）がありますので、ご注意ください。
6. 申請にあたっては、必ず研究代表者が本研究開発に参加する企業・関係機関の事前了解および会費支払（5万円〔振込手数料は企業側負担〕、ただし、中国地域創造研究センターの賛助会員の場合、支払は不要）の承諾を得ておいてください。
7. WORDでメールにて申請ください。
8. 公募締切後、提出いただいた書類の返却、差し替え、追加、変更等には一切応じられません。
9. 末尾の「新産業創出研究会のご応募に関するアンケート」にご記入の上研究計画書とともに提出ください。
10. 研究費の用途については、次のとおりです。

・調査費、特に交通費について規準を超えた申請が散見されますので、ご注意ください。

大分類	中分類	使用可の物品（例）	使用不可の物品（例）	備考
直接費	材料費	<ul style="list-style-type: none"> ・材料、機械装置、機械部品、電気器具、電子部品、化学薬品、試薬、シミュレーションソフト等の購入費用 ・外注費（機械装置製作依頼、化学分析依頼、ソフト作成依頼） 	<ul style="list-style-type: none"> ・汎用品（パソコン、印刷用紙、トナー等） 	
	調査費	<ul style="list-style-type: none"> ・研究に係る調査、実験活動のための交通費、宿泊費 ・外注費（事業化調査等） ・研究会構成メンバー以外の専門家に講師を招聘のための謝金・旅費 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外出張 ・10万円を超える学会出張 ・研究会参加の為の旅費 	直接費の内35%を超えないこと
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・書籍購入 	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費（学生等のアルバイト費用、事務員費） 	
間接費		大学の一般経費	特になし	間接費は直接費の10%以内であること

昨年度の様式から、下記3点が変更されていますので、注意してください。

- (4) 研究計画の役割分担と実施スケジュールは、3年分から1年分の記載になりました。
- (5) 研究会終了後の計画が追加になりました。
- (6) 研究代表者及び参加企業における研究・技術シーズ・知見(特許・論文等)は、「査読なし論文」も記載可能になりました。

【応募様式】

研究計画書作成にあたっては、極力専門用語を用いず、平易な表現を使用して作成して下さい。専門用語を用いる場合には、専門用語の後に、括弧書き等で解説して下さい。

「2024年度 新産業創出研究会」研究計画書

研究代表者 : [機関名, 役職] [氏 名]

共同提案者(大学等コーディネータ) : [機関名, 役職] [氏 名]

中国創研 コーディネータ※ : 支援を受けた場合 [氏 名]

※採択された際、別の中国創研 コーディネータが担当する場合があります。

1. テーマ名 (40文字以内で記入してください。)

2. 研究開発の要約 (本研究開発内容を要約してください。(150文字以内))

3. 研究開発計画の内容

(1) 研究開発の概要・背景・目的および研究シーズの新規性・優位性 (※研究代表者の方が記載してください。)

① 研究開発の概要・背景・目的

本研究開発の概要・背景・目的についてわかりやすく簡潔に記載してください。

(記載例)

●●産業では、●●●●が課題であり、●●●●のような開発が求められている。

このような社会的ニーズに対しては、●●●●という材料を用いて、●●●●することが有用であるが、これまでは●●●●という面で課題があった。

本研究開発は、●●●●材料を改良して、●●●●分野での適用性を検証するものであり、既存技術に比べて、●●●●という面で、非常に有効である。

本研究開発により、●●●●●●という特徴を持った、新たな●●●●●●という製品開発が期待できる。

② 既存技術と比較した研究シーズの新規性・優位性

既存技術(従来技術または競合技術)について記載し、また両者の比較は、可能な限り、図や比較

(記載例)

本研究にて開発する材料は、従来技術と比べて、

・ ●●●●●●●●

・ ●●●●●●●●

という特徴を持ち、特に、●●●●においては、●●●●●●という点で大きな優位性がある。

**** さらなる説明 ****

	従来技術	新技術
動作原理		
性能		
●●●●●●		
コスト		

(2) 参加企業のニーズ、事業化の概要等 (※参加される企業のご担当の方が記載してください。)

複数の企業が参加される場合は、中国地域内の企業で、かつ中心的な役割のある企業のご担当の方が記載してください。

① 企業概要

企業の概要 (業種、主要製品、売上高、保有技術、中国地域内の開発・生産拠点の概要など) を簡潔に記載してください。

② 企業が抱える課題・ニーズおよび事業化・商品化の概要

本研究会に参加し、大学等のシーズを活用して解決したい企業ニーズの概要 (技術課題など) について記載するとともに、最終的な事業化・商品化の概要について記載してください。

(事業化・商品化の概要については、製品イメージ図等を記し、わかりやすく記載してください。また想定する市場、もしくは環境への影響がある場合はその影響についても必ず記載してください。)

(記載例)

当社は、●●●●事業を行っているが、●●●●といった理由により、●●●●であることが課題である。そこで●●●●大学の開発した材料を用いて、●●●●に関する技術開発を行うことで、将来的には、●●●●といった製品開発を行いたい。

この製品は、●●●●という顧客に対しての販売できると考えており・・・

開発したい製品のイメージ図

③ 事業化時の体制 (開発・生産・販売等)

現時点で想定している事業化時の体制を、体制図等を用いて記載し、製造・販売等の役割分担、販売先等を記載してください。(※参加される企業のご担当の方が記載下さい。)

(記載例)

製品の製造は、主要部品の製作は、当社の協力企業である●●●●が行い、製品の最終組立は、当社が行う。販売は、当社の営業所を通じて、●●●●等の●●●●分野の企業に対して販売を行う、

各企業の関連を示した体制図

(3) 研究課題・目標・課題解決方法 (※研究代表者の方が記載してください。)

1 委託研究期間内における研究課題・目標・課題解決方法

委託研究期間内における、「研究課題」・「目標」・「課題解決方法（試作・実験・解析などの具体的内容）」について記載し、本委託研究の位置づけを記載してください。

なお「目標」の設定にあたっては、できる限り定量化を行い、その設定根拠がわかるように記載してください。

また、課題解決にあたり、参加企業の役割分担についても記載して下さい。

(記載例)

本研究においては、●●大学において開発した●●●●材料の性能評価・改良を行い、●●●●●●分野に対する適用性を検証することが本委託研究期間における大きな目標であり、そのためには以下のような課題がある。

(課題1) ●●●●材料の性能評価と改良

●●●●●●材料については、現在、材料の試作品ができ、基本特性が確認できた確階だが、●●●●●●分野に適用するには、今後は、●●●●●●面で評価を行い、材料の特性を向上させることが必要である。

そのため、まず、大学からは本材料を提供し、参加企業にて、●●●●●●試験片を成形して、●●●●●●試験を行って、●●●●●●性を評価することが必要である。

研究目標は、●●●●●●という面から●●●●●●を満たすことが必要なので、目標値を●●●●●●とする。

(課題2) 実際の製品利用を想定した試作品の開発

(課題1)で試験片レベルでの評価ができたが、実際の製品開発に应用するには、製品の部品形状に応じた試作品を作成し、●●●●●●評価をしていくことが必要である。

そのため、参加企業にて、実際の部品レベルでの試作品を作成し、●●●●●●に関する評価を行う。評価は、主に●●●●●●特性が重要なので、目標値を●●●●●●とする。

●●●●●●大学は必要により、材料組成の改良を行う。

② 事業化・商品化に向けての研究課題・最終目標・課題解決方法

委託研究終了後に、事業化・商品化するために、必要な課題と、達成すべき最終目標、課題解決方法（試作・実験・解析などの具体的内容）について下記事項を織り込んで記載してください。

- ・上記を解決するために計画（目標と）している外部予算があれば記載してください。
- ・「最終目標」の記載にあたっては、できる限り定量化を行い、その設定根拠がわかるように記載してください。
- ・課題解決にあたり、参加企業の役割分担についても記載してください。

(記載例)

本研究会で試作品が完成したら、製品化のために残る課題には以下のようなものがある。

(課題1) ●●●●●●部品の量産性検証・量産手法の確立

.....

(課題2) 顧客候補に「試作製品」をサンプル提供し、ユーザー評価

.....

これらの課題の解決には、●●●●●●といった面で多額の研究費がかかるので、●●●●●●●●補助金への応募を考えている。

(4) 研究計画の役割分担と実施スケジュール

研究開発項目	分担 (機関名)	委託研究期間											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. ●●●●●材料の性能評価と改良 1-1.●●●●●材料の製造 1-2.●●●●●試験片の作成 1-3.●●●●●性能評価・材料改良 2. 実際の製品利用を想定した試作品の開発 2-1.●●●●●材料の製造 2-1.試作品作成・評価 2-2.材料組成改良	○○大学 株◇◇ ○○大学 ○○大学 株◇◇ ○○大学												
・委託研究期間(2024年度)の研究スケジュールを研究開発項目・課題・分担を含め記載してください。 ・単に矢印を記載するのではなく、企業と大学等との役割分担を明確にするとともに、できるだけ詳細に記載し、研究期間経過後の達成状況がわかるように記載してください。													

(5) 研究会終了後の計画

下記①～④いずれかを選択して、必要事項を記載してください。該当以外は削除してください。

① 国の研究開発支援助成制度に応募 (例：○○省○○事業、JST A-STEPトライアウト 等)	
② 企業と共同で開発継続	
③ 企業で事業化 (企業名・事業内容：)
④ その他 ()

(6) 研究代表者及び参加企業における研究・技術シーズ・知見 (特許・論文等)

※研究代表者の方が記載してください。

①論文

本研究開発に関連する発表論文 (タイトル、発表者、年月、掲載学会、本研究開発との関連性等) について、代表的なものを3つまで記載してください。

②特許

本研究開発に関連する取得済みや出願中特許 (発明の名称、出願・特許番号、出願年月日、発明人、出願人、出願状況 (審査請求中・登録済み)、本研究開発との関連性) について、代表的なものを3つまで記載してください。

また、出願予定があれば、その旨を記載してください。

③共同研究実績や外部資金獲得状況

本研究開発に関連する企業等との共同研究実績や、外部資金獲得状況等について、プロジェクト名・共同研究者等を記載してください。

研究費算定内訳表

研究題目 「テーマ名」

受託者 所属・役職、氏名

研究費の額 1,000,000円（消費税込み）

事 項		金 額	算 定 根 拠
直 接 費	材料費		
	調査費		
	その他		
	小 計	910,000	
間接経費		90,000	直接費の10%（9万円）が間接経費の上限額です。
合 計		1,000,000	

関係者の連絡先

1. 研究代表者・契約担当箇所の連絡先

① 研究代表者				
研究機関名	学部（部署）	学科（部署）	役職	氏名
電話番号	メールアドレス	〒・住所		
		〒		
② 契約担当箇所（大学・高等専門学校のみ、企業は除く）				
研究機関名	学部（部署）	学科（部署）	役職	氏名
電話番号	メールアドレス	〒・住所		
		〒		
③ 参加企業の窓口				
企業名	所属部署		役職	氏名
電話番号	メールアドレス	〒・住所		
		〒		
企業名	所属部署		役職	氏名
電話番号	メールアドレス	〒・住所		
		〒		
④ 共同提案者・大学等コーディネータ （大学・高等専門学校・公設研究試験機関のみ、企業は除く）				
大学名	所属		役職	氏名
電話番号	メールアドレス	〒・住所		
		〒		

2. 研究会構成メンバー

研究会の 役割 ※1	企業・研究 機関部署名	役職	担当者名	電話番号	メールアドレス	〒・住所	参加有 無 ※2
						〒	※2 ①②③
						〒	※2 ①②③
						〒	※2 ①②③
						〒	※2 ①②③

						〒	※2 ①②③
						〒	※2 ①②③
						〒	※2 ①②③
						〒	※2 ①②③

凡例：①研究会への参加意思確認済み ②研究会へ参加させたい ③事業化時等に参加させたい

- ※1 研究会の役割:特許権者、専用実施権者(含む予定)の場合は、研究会の役割に明示してください。
- ※2 参加の有無：企業（機関）とどこまで話ができているか、下記凡例の番号を記載し、他は削除してください。なお、本研究会の応募要件として、①は最低限1社は必要です。
(①が1社もない場合は、応募要件不足とみなします)

凡例：①研究会への参加意思確認済み ②研究会へ参加させたい ③事業化時等に参加させたい

添付資料

必要により、本研究開発に関連する論文、特許の概要を示す下記の（１）（２）の資料を両方添付してください。

- （１） 論文、特許の概要を１件につき数行程度で記載した概要書
- （２） 論文、特許の最初の１ページ目のコピー